



お正月（インドネシア編）

1. はじめに

東西に伸びた国土を有するインドネシアには、3つのタイムゾーンがあります。また、インドネシアには、5つの宗教（イスラム教、キリスト教（プロテスタント）、キリスト教（カトリック）、仏教、および、ヒンドゥー教）と中華文化に代表される多様性があります。

2. インドネシアの暦

宗教には特有の暦があります。正月の時期も宗教によって異なります。

インドネシアの主要な暦はグレゴリオ暦ですが、グレゴリオ暦以外にも、各宗教に特有の暦も使用されています。

例えば、2016年のインドネシアには、15日の祝日が制定される見込みです。この15日の祝日の内訳は、独立記念日（1日）、各宗教の暦に基づく祝日（10日）、そして、各宗教の正月に関連する祝日（4日）です。

- ・ 1月1日：国家としての正月（national new year day）であり、かつ、キリスト教（プロテスタントおよびカトリック）の正月。
- ・ 2月8日は、“Tahun Baru China” と呼ばれる中国の旧正月。
- ・ 3月9日は、“Hari Raya Nyepi” または “Tahun Baru Saka” と呼ばれるヒンドゥー教の正月。
- ・ 10月2日：“Tahun Baru Islam” と呼ばれるイスラム教の正月。

3. インドネシアのお正月

インドネシアでは、主に宗教的な儀式として、新年を祝います。特に、新年を祝う場で提供される食事には、各宗教の伝統が色濃く

反映されます。

3.1. 1月1日（キリスト教）

国家の正月である1月1日には、キリスト教の信者だけでなく、国中で新年が祝われます。特に、首都ジャカルタでは、新年を祝うために、企業や政府が主催する様々なイベントが開催されます。とりわけ、年越しの瞬間は、各地で盛り上がります。老若男女問わず、大晦日の夜にカウントダウンを待って、屋外ステージでアーティストのパフォーマンスと共に多くの人々が新年の到来を共有します。花火や爆竹がイベントを彩ります。

テレビの特番は、自宅で年を越す人にとっての風物詩となっています。

大晦日から元旦にかけての様子は、日本のものと近いものがあるのではないのでしょうか。

3.2. 2月8日（中国の旧正月）

チャイナタウンでは、旧正月が盛大に祝われます。中華民族の人たちは、彼らの先祖への感謝の意と、未来の幸運を祈るために、中華系の寺院を訪れます。

中華系のコミュニティでは獅子舞等の伝統舞踊を目にすることができます。

また、中国の旧正月の特徴として、正月料理が挙げられます。特に有名なのは、もち米粉と砂糖で作られた“KUE Keranjang” と呼ばれるお菓子です。

また、中華民族の人たちは、親族や友人の子供たちに、“Angpau” と呼ばれる赤い袋を渡します。このAngpauの中にはお小遣いが入っています。つまり、「お年玉」というわけです。

3.3. 3月9日（ヒンドゥー教）

ヒンドゥー教の正月は、国家の祝日で制定されているものの、正月行事が実際に行われる地域はほぼバリ島に限られます。バリ島の住民の大半がヒンドゥー教徒であるためです。バリ島のヒンドゥー教は、“Hindu Bali”とも呼ばれており、一般のヒンドゥー教とは少し違います。

ヒンドゥー教の正月の呼称に含まれる“Nyepi”とは、「沈黙」を意味する言葉で、人々が自宅で断食や瞑想をする風習があります。私にもヒンドゥー教の友人がいますが、他の宗教と同様の感覚でお祝いの気持ちをもって接していいのかどうか迷うときがあります。

“Nyepi”の前日（いわゆる大晦日）は、人々は、バリ島内にある寺院を訪れます。そして、“Nyepi”の翌日は、“Omed-omedan”と呼ばれるお祭りが開催されます。Omed-omedanは、若者を中心として、大いに盛り上がります。

バリ島では、“Nyepi”の時期になると飛行機や船の往来が制限されます。“Nyepi”は観光客ではなく、バリ島に済むヒンドゥー教徒のためのものなのです。

3.4. 10月2日（イスラム教）

イスラム教の正月は、インドネシア全土で祝われます。インドネシア人の大半がイスラム教徒であるためです。

正月になると、イスラム教徒の人々は、学校やモスクで祈りを捧げます。学校やモスクでは、祈りの儀式の際にケーキを食べます。このケーキは、学校側で用意する場合がありますが、女性教徒が持参することもあります。

特に、ジャワ島では、正月行事を“1 Suro”と呼びます。1 Suroでは、盛大に盛り上がるようなイベントではなく、イスラムの伝統的な儀式が行われます。この儀式の目的は、人々がその欲望を抑えて、少しでも神へ近づくことにあります。とりわけ、ジャワ島

の中央部にある王宮で開催される1 Suroでは、ヒンドゥー教の伝統の影響を色濃く受けた厳かな儀式となります。地元のイスラムの伝統文化と言えるでしょう。

3.5. 仏教の正月は？

仏教の暦には、正月に相当する日がありません。Hari Raya Waisakと呼ばれる行事が、1年で最も盛り上がる仏教行事ですが、敢えていえばこれが正月と呼べるかもしれません。

特に、ジャワ島の西側に位置するボロブドゥールでは、ブッダに関わる祝典が盛大に行われます。ボロブドゥールに存在する石造りの寺院と合わせて、観光の目玉になっています。日本の寺院は木造のものが多いと思いますが、この石造りの寺院も見ものだと思います。



ボロブドゥールの寺院

著者紹介

Mr. Rohaldy Muluk (ロハルディ・ムルック)

GIP ASEANインドネシアオフィス（Chapter One IP）代表。1954年パダン（西スマトラ州）生まれ。ベルリン工科大学卒業。専門は物理・機械。エンジニアとしてドイツで17年過ごした後、2004年より知的財産分野のキャリアをスタート。2009年コンサルタント試験合格。2013年よりGIP Unitedsに参加。趣味はスポーツ。

<http://gip-asean.com/>

<http://www.chapterone-ip.com/>

編集者

木本大介（きもと・だいすけ）

日本弁理士、GIP東京所属。1977年神奈川県生まれ。専門は通信、電気、ソフトウェア。2005年弁理士試験合格。企業知財部3年、特許事務所7年の経験を経て2013年7月より現職。

<http://www.giplaw-tokyo.co.jp/jp/>